

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.10 2012 新年号



- 呼吸器内科のご紹介
～世界初の肺腺がん治療ワクチンをめざして～
- 第21回日本乳癌検診学会学術総会を終えて
- 第18回緩和ケアフォーラムin岡山レポート
- 備中地区でがん診療地域連携バス説明会を開催しました

インフォメーション

- 第10回 Cancer Seminar
- がんプロ講演会
- 第10回 市民公開講座
- 第6回 Oncology Seminar
- オープンカンファレンス



呼吸器内科のご紹介 ～世界初の肺腺がん治療ワクチンをめざして～

呼吸器内科部長 岡 三喜男

大学の使命は医療人の育成、地域医療への貢献、医療技術の開発による国家への貢献です。呼吸器疾患は肺がん、感染症、喘息、喫煙肺、睡眠呼吸障害など多岐に渡っています。全てを網羅的に修得することは困難ですが、各分野に専門医を配置して地域医療に貢献しています。病気は予防からを掲げ、予防医学に注力しています。禁煙外来を週3回設け、肺炎球菌ワクチンを強力に推進しています。その結果、ワクチン接種実績は全国大学病院の上位5位にあります。呼吸器疾患の診断には気管支内視鏡検査による正確な診断が要求され、超音波内視鏡や胸腔鏡を積極的に導入しています。



肺がんは、世界的にも悪性腫瘍の中で罹患率が高く予後の悪い疾患です。我々は、肺がんの中で最も頻度の高い腺がんを高率に発現する癌抗原XAGE分子を同定しました。肺腺がん患者の多くがXAGEに対し強い免疫反応を示し、がんワクチン療法の良い標的になることを報告しました。現在、世界初の肺腺がんペプチドワクチンの製造を完了し、来年度、川崎医大を中心にライデン大学と米国スローンケタリングがんセンターで臨床試験を計画しています。肺がんワクチンに関する情報は、ホームページで逐次公開しています。

我々の夢は、世界の病める人々のため医学的に貢献することです。

(川崎医科大学呼吸器内科ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/resp/>)

第21回日本乳癌検診学会学術総会を終えて

総会会長 乳腺甲状腺外科部長 園尾 博司

本年10月21日(金)～22日(土)に第21回日本乳癌検診学会学術総会を岡山市で開催しました。今回のテーマは「実現可能で有効な乳がん検診システムの構築」と致しました。MMG 検診の受診率が15%程度に低迷しているのは、受診者個人の問題のみならず、現行の検診システムにも問題があると考えたからです。海外の先生方にも加わって頂き、受診率向上のために有効なシステムを討論するためのシンポジウムやワークショップ、新しい試みであるポスター討論をはじめ



330演題の発表が行われ、約1600名の参加者があり、盛会裡に終了しました。この学術総会で得られたものが今後の乳がん検診に生かされるものと期待しています。

全員懇親会では、瀬戸内の新鮮な魚や岡山・東北地方の地酒を酌み交わし、有名連「ごじゃ平連」の阿波踊りのアトラクションにより参加者の多くが踊りの輪に加わり、大いに盛り上がりました。

最後に、この学会のプログラム準備段階からご尽力いただいた岡山・徳山の実行委員の方々、当科のスタッフ、その他ご協力いただいた皆様方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

第18回緩和ケアフォーラムin岡山レポート

消化器外科部長 平井 敏弘

第18回緩和ケアフォーラムin岡山が、平成23年11月2日倉敷第一病院ISAMホールにて開催されました(参加者約150人)。基調講演として、医療法人緑隆会太田病院理事長 太田隆正先生が「新見地区の在宅医療の現状—新見あんしんネットの活用」と題して、携帯型通信端末機器(医心伝心)つまり光ファイバー電話回線網を利用したテレビ電話を用いた在宅医療支援システムを紹介されました。特別講演として、医療法人社団鴻巣会理事長(前東京女子医科大学教授)城谷典保先生が「クラウド上のグループウェアを用いた在宅緩和ケアにおける情報共有の試み」と題して、オンタイムで非常に簡単に情報をやり取りする在宅医療におけるチーム医療を紹介されました。いずれも、ネット社会における今後の医療、特に在宅医療の今後の在り方を示唆する貴重な講演でした。

緩和ケアフォーラムin岡山

代表世話人 川崎医科大学附属病院
消化器外科部長 平井敏弘

事務局 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp

メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

備中地区でがん診療地域連携パス説明会を開催しました

呼吸器外科部長 中田 昌男

岡山県では岡山県がん診療連携協議会が中心となり、5大がん(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・肝がん)の地域連携パスを作成しました。今後このパスを有効活用させるために、現在県下の各医師会で説明会が開催されています。

川崎医科大学附属病院は高梁医師会、新見医師会、備中地区(総社市・早島町・笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町)を担当することになり、平成23年11月19日備中県民局において備中地区説明会を開催しました。当日は医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、行政の方々など82名が参加し、当院の医師によって岡山県地域連携パスの概要ならびにそれぞれのがん連携パスの内容について説明が行なわれました。同様の内容で高梁医師会、新見医師会でも説明会を開催する予定です。



地域連携パスが目指すところは、がん診療の均てん化・情報の共有化・リスクマネジメントです。県内どこに住んでいても同じ診療を提供できるようにし、検査投薬の重複・見落としをなくすることが目的です。これを活用することでがん患者さんに安心を与えることができると期待されます。

くわしくは、岡山がんサポート情報のHP (<http://www.pref.okayama.jp/hoken/cancer/>)でもご覧になれます。引き続き御支援いただきますようお願い申し上げます。

がんセンター活動予定

第10回Cancer Seminar (医療関係者向け)

日時: 平成24年1月14日(土) 13:30~16:30
場所: 川崎医科大学 校舎棟7階 M702教室

テーマ

「頭頸部・甲状腺・泌尿器がんの治療
～放射線治療を中心に～」

がんプロ講演会 (医療関係者向け)

日時: 平成24年1月18日(水) 19:00~20:30
場所: ホテルグランヴィア岡山 3階サファイア

テーマ

「肺がん診療最前線」

第10回市民公開講座

※日程が変更になりました

日時: 平成24年3月10日(土) 13:30~16:00
場所: 川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

テーマ

「がんの免疫療法」

第6回Oncology Seminar (看護師・コメディカル向け)

日時: 平成24年3月24日(土) 13:30~16:00
場所: 川崎医科大学 校舎棟7階 M702教室

テーマ

「がん患者QOLの維持・向上を支援する」

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病院薬理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00~19:00
場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30~19:00
場所 本館10階 過院治療センター

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00~19:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室
TEL(086)462-1111(内線22611・22613)
FAX(086)464-1166
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp